# 製品安全データシート(MSDS)

会 社 名 株式会社ジャパンアイビック 所 在 地 千葉市花見川区作新台5丁目4番1号

担 当 部 門 開発営業部

電話番号 043-259-9461 FAX番号 043-259-9571 緊急連絡先 043-259-9461

作 成 日 2007年5月10日

製品名(化学名、商品名など) JA-701 ガラスクロスゴム引

製品の概要:ガラス布にゴムコンパウンド(天然ゴム等)を塗布したガラスクロス

物質の特性:

単一製品・混合物の区分:ゴムコンパウンドとガラス繊維(Eガラス)の混合物化学名:アルミナ硼珪酸ガラス(Eガラス・無アルカリガラス)

官報公示整理番号:該当なし

C A S No. : 65997 - 17 - 3

危険有害性の要約:通常使用では特に有害性はない。

## 応急措置

目に入った場合:清潔な流水またはお湯で異物感がなくなるまでよく洗う。もし、痛みが続くようで

あれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:水洗、浴槽、シャワー等及び石鹸を用いて清潔な流水で洗い流す。

もし異常が継続する場合には医師の手当てを受ける。

吸 入 し た 場 合:清潔な水でうがいと共に、口腔洗浄・鼻うがい等を行ない除去する。もし異常が継

続する場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合:飲み込んでも害はないが、異常があれば医師の手当てを受ける。

## 火災時の措置

消火剤:水、泡沫消火剤、粉末消火剤等いずれの消火剤でも使用可。

#### 漏出時の措置

床面などにこぼれた場合には、速やかに粉塵が飛散しないように静かに清掃し、空容器や袋などに詰めて 一般産業廃棄物と同様の扱いをする。

## 取扱い及び保管時の注意

取扱い:吸い込んだり、眼、皮膚に出来る限り触れないようにする。

必要に応じ手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用することが望ましい。

保 管:安全上問題はないが、品質上水漏れに注意し、常温で低湿の屋内保管とする。

#### 暴露防止措置

管理濃度:規定なし

許容濃度:ガラス繊維は鉱物に該当し、粉塵則の規定に該当する作業場は、遊離珪酸が0%であるから、

吸入性粉塵管理濃度は 2.9 mg/ m³となる。

設備対策:局所排気装置及び洗顔・洗身・うがい・更衣設備・洗濯設備等の設置が望ましい。

保護 具:防塵マスク 一 必要に応じ防塵マスクの着用が望ましい。

保護眼鏡 ― 必要に応じ保護眼鏡の着用が望ましい。

保護手袋 ― 革手袋等ガラス繊維を通しにくいものの着用が望ましい。

保護 衣 一 衿つきで手首、足首が締まっているものが望ましい。

#### 物理的及び化学的性質

外 観:固体、シート状

溶解性:水に溶解しない

## 安定性·反応性

安定である。

#### 有害性情報

急性作用:眼、皮膚に付着した場合…直接接触時に物理的刺激があるが毒性はない。

慢性作用:特になし。

発がん性:ガラス長繊維は国際ガン研究機関(IARC)の分類ではグループ3に該当している。

#### 環境影響情報

現在のところ、環境影響に対する研究報告はない。

#### 廃棄上の注意

本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は"ガラスくず・陶磁器くず"に分類されるので、"廃棄物の処理 及び清掃に関する法律"に従って、適切に処理する。

#### 輸送上の注意

特になし。但し品質上、容器が破損しないように、水漏れや乱暴な取扱いを避ける。

## 適用法令

作業環境の一般粉塵として労働安全衛生法令施行「粉塵障害防止規則」

労働省労働基準局長 基発第一号 平成5年1月1日

「ガラス繊維及びロックウールの労働衛生に関する指針」

#### 記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱を対象としたものなので、特殊な場合には、用途・用法に適した安全対策を施してご利用ください。

## その他の情報

## 参考文献

- 1) ガラス繊維協会:「ガラス繊維の人体に及ぼす影響」平成5年3月発行
- 2) ガラス繊維協会・ロックウール工業会:

「ガラス繊維及びロックウールの労働衛生に関する指針の解説」平成5年6月発行

- 3) ガラス繊維協会:「ガラス繊維の労働衛生に関する指針マニュアル」平成5年6月発行
- 4) ガラス繊維協会・セラミックファイバー工業会・ロックウール工業会

「人造鉱物繊維(MMMF)繊維濃度測定マニュアル」平成4年8月発行

5) 日本産業衛生学会:許容濃度等の勧告(2004)